

NEW HOUSING JOURNAL

VOL.53

4

APRIL

2013

新

住宅

ジャーナル

資材価格の高騰続く住宅産業



「数寄の家」 住友林業 × 杉本博司



「移動とエネルギーの間」 HONDA × 藤本壮介



「家具の家」 無印良品 × 板茂

建築家
×
企業

住まいの最新モードを世界へ HOUSE VISION

企業と建築家のコラボレーションによる原寸大の6つの家と模型大の集合住宅を展示した「HOUSE VISION 2013 TOKYO EXHIBITION」は3月2日(土)〜3月24日(日)にかけて東京お台場(青海駅前)の特設会場にて開催。著名な建築家の作品を実物大で集めた展示会であり、会場は建築ファンの熱気に包まれた。同展示会は、「家」というものを、これからの産業が多角的に交差する場として捉え、日本の潜在力を分かりやすく具体的にヴィジュアライズする試みであり、アジア諸国で約2年にわたる研究会やシンポジウムを経て、今回の東京展を開催するに至った。

展示会ディレクターはデザイナーの原研哉氏(日本デザインセンター・原デザイン研究所)。主催は同実行委員会。会場構成を建築家で東京大学教授の隈研吾氏が行い、各方面の企業や建築家に呼びかけて今回の企画が実現した。

展示会ディレクターの原研哉氏の案内による展示作品の概要は次の通り

「会場構成」

隈研吾

観覧ブリッジには、再利用を前提にした10・5センチ四方の角材をできるだけ加工しないで使用。

(P.42に続く)

【詳細は 新住宅ジャーナル 4月号】

1月20日に完成したゼロエネルギー住宅試験棟 夫婦&子供1人の3人家族でデータ取得中



寒冷地のゼロエネ住宅

決定的な普及力を生み出す ゼロエネ住宅とは？

ニーズ
開発
実施中



千田工務店 千田 忍 代表取締役社長

千田工務店は8年前から太陽光発電100%搭載の家づくりに取組んでいる。昨年度の受注実績は40棟。長期優良住宅では岩手県内の工務店の中でトップクラス。累計80棟の実績。10名の従業員で運営している。

パワースポットの催し開催

岩手県北上市の千田工務店（千田忍社長）では、1月20日にゼロエネルギー住宅の試験棟を完成させた。ゼロエネルギー住宅の建材にはウッドワン震災支援住宅システムを初採用。日産リーフと充電リコーPXXで電流を逆流できるパワーステーションを導入した。詳細は結果が出ていない段階なので未公開となっている。

【詳細は 新住宅ジャーナル 4月号】